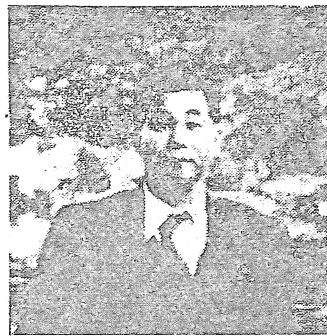


河 邊

辞 刊 の 發



河辺村長 河辺村公民館長

藤 田 勤 主 計

國を挙げて多事多難な試練の歳昭和二十八年は莊嚴な除夜の鐘に餘韻を残し静かに明けて希望と歡びに満ちた昭和二十九年を迎え謹みて皆様の御多幸と國家の興隆自治の発展を御祈り申し上げます。特に昨春早々先ず村に於ては村長村議會議員の辭職改選があり續いて國會の解散改選あり内閣が改選され目まぐるしい動きの中に縣に於ては副知事制廃止の問題あり國にも地方にも幾多の憂慮せらる、諸問題を惹起したものでありましたが或は解決

され或はそれ／＼の目的を達しつゝ越年が出來たのでありました。殊に本村はかねて喪失して復旧を急いで居りました河邊小学校が新築落成を見、續いて災害復旧土木事業として北平上流方面並に川崎方面の道路の改修及び円永橋、長崎橋の架設が竣工し村民一同愁眉を開き、次いで消防施設を改め移動式動力ポンプ二台を購入し一朝有事に備え、更に診療所設置に依り医療行政に明るい第一歩を刻み機動性を付與し警察行政上駐在所管轄が

今年には更に大事業たる北平小中學校、河邊中學校の三校の建築が開始せられており事業費正に貳千萬円に達する本地方未曾有の難事でありますが皆様の至誠天地を貫く御熱意は關係各方面に反映御援助と御指導を仰ぎ得て必ずや完成を見るものと固く信ずるものであります。その外医療設備の完備、災害土木事業道路新設並に改修事業村有財産の造成、學校備品の完整消防設備の完備、公営住宅の新築等これ又五百万を超える事業が山積致して居りますがこれらもその大部分を實行に移さ

創刊号
發行所 河辺村公民館
編集 村長 藤田勤
編集委員 河邊村長
電話 河辺15-9番

廣域 且つ 不便 であるので

ねばならないと考えるのであります。今年こそ如何なる困難が伴いましよう共克服し祖先の偉業を偲び後世の幸福を慮り本事業を急速に達成し齊しく愛村の實を挙げたいと念願してやみません。御奮斗を御祈り申上げまして年頭の御挨拶と致します。亦本村は單に事業の推進のみでなく我れ我れが國家社会の完成のために産業を興し地方自治に貢献し自ら修養を積み得るべく皆様と御謀りして公民館運動を盛んにしなければならぬと思ふのであります。而して進んでは眞面目な楽しい会合を通じて日本の民主化を図り新しい倫理觀社会觀に立つて世界人類の福祉に貢献し得る様基礎を養つてはどうかと考えるのであります。

昭和二十六年の元旦に、河邊村が誕生した。數へ年四才の河邊村である。人間だつたら少々は歩けるし、語る言葉も自由になり、危ない所も分るし、一寸したおつかいもする。まず、「猫よりやまし」の時代である。人間は藪二十才で成人として取扱われ一人前となる。所で村が二十年立たねば一人前の男にならなかつたのだらう。河邊村の場合、明治四十一年に、奥南村（大字植松、椽谷、横山、宮谷、川崎）山鳥坂村（大字山鳥坂）が合併して河邊村となり、昭和十八年四月一日には河邊村が浮穴村（大字北平、百合谷）を合併した。それから二十九日、昭和十八年四月二十九日には河邊村宇和川村、大谷村が合併して縣下第一の眩川村をつつた。その眩川村が八年足らずで河邊村が分立し

☆☆☆☆☆
猫よりましの
河邊村では
T N 生
☆☆☆☆☆

た。僅か四十四年間に四回も村の形態が變つて居る。繪て浮世は離合集散常なきものとは諦めて居るが考えて見ると、爲政者の惡戯細工の觀もある。河邊へんでは、村の壽命は十年位が通り相場、人生五十年の五分の一に相當、人間の二十才は村では四年位に相なる。河邊村も昭和二十九年には四才となり、成人する年なのだ。人間なみに猫よりましではチト困る。成人河邊村に成人としての自覺ありや。村長よ吏員よ村民よ。やをら胸に手を当て考えに見よう。



厚生

厚生係船田

一、民生委員法の改正に伴う委員の改選について

昨年(昭和二十八年八月一日)民生委員法が改正せられ、本村に於ても左記の方達が新らしく民生委員として不幸な人達の眞の相談相手として選ばれましたから現に其の日の生活にもこと欠く様な状態にある方或いは教育費にもこと欠き可愛い子供の教育も出来ない様な状態にある人達は進んで民生委員に御相談下さい。必ず眞の相談相手となり不幸な人達の杖とも柱ともなつていただくことになつております。

又民生委員は國の委嘱する児童委員でもありませんから子供さんの事などで心配のある時は早く児童委員に御相談を掛けて下さい。たとえば子供のいない家庭には親里の世話をするとか或いは身体の不自由な子供にはお金のかからない様に肢体不自由児の福祉施設に入所の世話をするとか俗に福祉三法(生活保護法、児童福祉法)

身体障害者福祉法)に関する相談は遠慮なく地区担当の民生委員に御相談下さいれば絶対に秘密を守り何かと良き相談相手となつていただくことになつております。豊かな生活をいとなむには健康であることが第一條件であり病気が常に私達の生活をおびやかす一歩あやまれば、みじめな落伍者となることは必ず

短歌(秋祭以後)

秋祭きのふに過ぎて里人ら朝のくもりに稲刈りいそぐ
たうきびのとりいれ急ぐみればつかの間にして祭は過ぎぬ
ゆたかなるみのりといへど落つる陽を浴みて稲刈る人のさみしさ
いたづらをしたくてたまらぬ顔をして幼子はわが前かけりゆけり
わが耳の鳴りかかぬのなるかもしらへとして又歩みゆく
耳鳴りのいらだたしさは言はざらむ仰げば澄み動かぬ白雲
幼くて猫にかかれし手の疵にふと目とまりて思ひ遙けし
氷雲あかねさしたるたまゆらにこほろぎ鳴きぬ石のあひだに

- 木、日其ノ川 長崎、天神
中本 光直 中居、熊ノ坂、坂本、竹之瀬、大中山
横通り、神納 旭、米、帯江
福田 末子 稻谷、下中 上名場連、寺
大伴忠三郎 植松、椽谷 赤ヶ滝、鴨谷
日平 往見 俊春 下、中、上

七五三満

朝鮮等で総領事館、日僑連絡事務所、日本人世話会等に預り證と引換に預けた金融書類を本人に返還されることになりましたので該当者は所定の手續をせられて證書の返還を要求せられるようお知らせいたします。

- (1) 返還出来るもの
順、鞍山、本溪湖、撫石橋、海城、遼陽、西

- 錦縣、安東、開原、蘇家屯、鐵嶺、吉林、永吉、日僑總

旭、日僑善後連絡總處又は自治会

- (ロ) 中國地区(天津、北平、開封、青島、濟南、海州、上海、南京、漢口、杭州、徐州、廣東)では總領事館、日僑歸國準備會、日僑自治会、第六方面軍經理部出納官又は第五八師團復員管理官

(ニ) 南洋諸島(フィリピン)では現地連合軍司令部、經理部に預けた送金小切手預貯金證書等の證券預り証及び接收証明書等

表に「返還請求書在中」と明記しなるべく書留郵便にして下さい。
(3) 返還請求期間 昭和二十九年一月一日から同年四月三十日まで
(4) その他 1 預り証等を引揚の際に上陸地税關(昭和二十一年六月までは海運局)で保管証と引換に預けられた方は本年(昭和二十八年八月三十日)大藏省から公告した手續によつて預り証等の返還を受けようから、この手續によつて請求して下さい。
2 税關大藏省理財局日本銀行、横濱正金銀行等が保管証と引換に保管したものと及び持歸り金の限度を超す現金預り証を日本銀行又はその代理店に提出されたもの等を前記1の公告によつて税關で返還して下さいますからまだ返還の請求をしていない方は至急手續をして下さい。請求期間は昭和二十八年中となつていますがその期間に拘らず自分の問受けます。



医療

全村民に

医療保障を!

近頃社会保障制度と云う言葉が盛んに使われる。そして誰しも社会保障制度が確立されなければならぬと叫ぶ。だが一体誰がこの制度を確立して呉れるのか、手を携いていけば天からでも降つて来ると云うのか?否々我々の努力と工夫と決断によらないでこのような結構な制度の生れる筈はない。

健康保険組合によるの外ないものである。その國保を実施している市町村の数は約五〇%の四十九万人で残りの四十九万人に及ぶ未加入町村も續々実施に移しつつあるので全市町村実施も近い將來のことと思われ、それで本年六十八億円に及ぶ國庫補助金の如きも全縣國保を実施している山形、滋賀、埼玉、新潟、岩手等主として東北、北陸方面に洪水の様に流れて行き愛媛縣の如く未加入町村多き縣においては國庫補助金六十八億円の財源を作る爲に汗水流し昭和二十七年度喜多郡各町村別國保補助金交付一覽表

Table with 3 columns: 市町村名, 國庫補助額, 縣費補助額. Lists municipalities like 平野村, 南久米村, etc., with their respective subsidy amounts.

て働き國保をやつてゐる縣にばかり流れ行くとしたらこんな馬鹿々々しい話はない訳である。國保をやつても仕拂わねばならぬ医療費であり國保をやつてゐる所へだけ國や縣が補助をしてゐるとすればこれを受けることのできなない市町村民位お人好はない訳である。向うむいて流れてゐる補助金の流れをこちらに向つて流すようにするのは河邊川の流れを笹ヶ峠を越えて小田町村に流す程むずかしいものではない。只我々村民が國保を受入れる態勢を整えればそれで喜多郡内の國保加入町村の國庫補助交付の事情を記載して参考とした(堀内)

産業

今後の山村農業の

ありかたについて

農業委員会 高橋

本村の農業経営を見るに最近農家個々の經濟事情は非常にわるくなり今更には直に行詰りのあることがつきりとして来た。二三年后には農村は不景氣の最底に陥ることとは免れ得ないであろう。農地の拡張もこれ以上望めないし、これ以上高度の收穫も得られない。また伐採する森林も底をつく事になり何か特別の副業を考えない限り現金収入は得られず、農村の懷具合は非常に苦しくなるであろう。これを切抜るためにはどうしても今後の農業経営を集約的な商品を生立とした立体的な農業経営へと推進せねばならないと思ふのである。然らば其の立体農業とは如何なるものであろうか。其の見方には色々考えられると思ふが私は次の如く見るものである。1集約的商品作物の導入 2飼肥料樹木農業の樹立

は随分多くある。これを計画的に改良し其の一部を整理して果樹園とするか、あるいは一部に飼肥料樹木を植え家畜に與えたり、綠肥料として田畑に刈り込む等また草地の一部を改良して飼料栽培をする事とか家畜の放牧をする事も一方法であると思ふ。果樹は氣候土質等に依り其の適否があると共に多少の技術と資本を必要とする。本村に於ても果樹は有望であると思ふ。特に、柿栗は毎年相当量生産出荷されてゐる現狀でこの外、ブドウ、無花果クルミ等は野生のものも相当ある位であるので少し手入をすれば品質の良いものが得られるであろう。尙細部については次号に於て紹介した。



椎茸は菌植に限る

経済保名本

昭和二十七年の本村の椎茸販賣高は、二千二百貫であり、金額で三百七十万円の収入となつてい

椎茸栽培は本村の氣候風土に適し、又その原材も豊富であり、特殊林産

森組の話では栽培する木の内、約二割は菌植で残り八割は天然栽培との事だ。所で菌植自然両栽培を比較して見ると

物として見逃さない存在である。

菌植等の知れた事で菌植の特点是

- 1 同原料でよい品を短い期間に多量に作れる。
- 2 従つて利廻りがよい
- 3 品が良くて(はが太い)値賣りが出来る

等であつて菌植を特に奨励する。

事項	栽培別		備考
	菌植	自然	
原木栽培期間	長い	短い	長い程仕事の都合がよい
手間	多い	少ない	少ない程勿論よい
原木寿命	短い	長い	生える量は違わないから短い程利廻りがよい
太さ	太い	小さい	太い程値が高い
商価値品	高い	安い	高いのに越したことはない
技術要	要	不要	大した技術ではない
菌代	入用	不要	高いものではない

うそでない

棕櫚は山の王様 (公民館)

棕櫚は
1畝に 100本
1反に 1000本 } が適当で
1町に 10000本

収入は
現在相場一枚一円七十錢也、一本の木で十枚とれて一本に十七円となる
1本に 17円
1畝=17円×100
=1,700円
1反=17円×1000
=17,000円
1町=17円×10000
=170,000円

棕櫚栽培奨励のわけ

- 1 河辺村には適地が多い
 - 2 草場おどろでよく育つ
 - 3 年々十七万円がごろりと入る
 - 4 十三年目から二十年間年々とれる
 - 5 用途販路が廣くて多い
 - 6 水に強い事世界一
- おすゝめしたいこと
- 1 棕櫚の木を植えよう
 - 2 苗は大切に育てよう
 - 3 種子は今の内に採つて適地へまこう
 - 4 立枯れは早く掘つて焼きすて跡へ生石灰をまくこと

奨励どどいつ

河辺廣いよ
棕櫚うえしやんせ
一町やつときや
十七万両
棕櫚は年々
二十年間とれて
樂な仕事で暮しよい
棕櫚の病虫害
おそるにやたらん
日進月歩の敵じやない

二月下旬

製炭講習会開催
場所 宮谷部落
講師 縣池田技師
目的 品質本位の襟のやき方

椎茸を大々的に栽培している人は、皆菌植である手間の多いこと技術や菌代等は知れた事で菌植の特点是

- 1 同原料でよい品を短い期間に多量に作れる。
- 2 従つて利廻りがよい
- 3 品が良くて(はが太い)値賣りが出来る

等であつて菌植を特に奨励する。

さて本村の場合問題になるのは、はが小さい(なばが小さい)のと乾燥がまずいのが、大きな欠点であり、次は個人販賣と貯蔵が不完全の欠点がある。この四原因を除去することが急務であるが、就中太いなばにすることと乾燥を上手にすること

は最大の急務である。乾燥については熱風乾燥設備にして理想的に乾燥し折角のよい品を悪くしないよう又特に香氣を失わないようにしなければならぬ。縣費補助もあるのでは是非共同で設置したい。

次に個人販賣を止めて、

軍人恩給について

共同販賣をし、貯蔵設備を整えて梅雨期を越させて賣るようにしたい。梅雨を越せば約二割は例年價が上つている。販賣と貯蔵は將來の解決に待つとしても、先づ当面の問題は菌植と乾燥とが急務であることを強調したい。

厚生係 船田

終戦後(昭和二年)勅令第六十八号により旧軍人軍屬に対する恩給が停止されておりましたが昭和二十八年八月一日旧軍人軍屬に対する恩給並に扶助料が復活せられ、本村に於ても既に第一回四二名分を申達済であり二月中頃には扶助料関係

一應全部完了の見込であります。恩給金額並に扶助料の額等について不審の点があれば係に御問合せ下されば御説明申上ります。

尙恩給法に該当せざる一般軍屬の遺族及恩給法に該当せぬ内縁の妻(入籍されていない妻の場合



(を依然遺族援護法による年金に残ることになつておりますから先順位の方(順位は妻、子、父母祖母父)は四月迄に額の改定申請をせねばなりません)が其の時期が参りましたら係より御知らせすることになります。

又非該当となつておりました東洋丸の死没者及び恩給法による公務死外の傷病者の遺族に對しても恩給法が漸次拡大せられつゝありますから今しばらくの間御辛抱が願いたいと思ひます。

精神再組織

西川 益夫

悠戦後の日本人の経済状態... 精神的な再組織が求められている...

うものについて考えさせられた。満ち足りた何一つ不足のない往生と云うもの...

今流

七五三 満

昭和二十年八月十六日... 山かほの、光しづかに、蟬なげど、われの心の...

炭やきさんか? 灰やきさんか?

公民館主事 名 本

河辺村の昭和二十八年中の製炭量は五三〇〇〇俵...

て評判が悪い。炭がグザグザ... 炭やきさんと灰やきさんの区別...

その後更に先生の著書「静かに思ふ」にも収められ、手紙を通して先生の御慈愛に浴するに至つたが、今の私は...

「それから七年の月日がたちどうやら本流に添うて独立国にまで漕ぎつけたともいえよう...

評を一掃すべく改良案の普及に努め、増殖に力をつけている。...

るのでその案の成績は、八尺のまん丸九尺の案で毎度四俵から四三俵を出して...

らそれ以上の増収である... 二八年中には村内で一五〇〇圓の差で計るが...

作品

川小學校の部

もうすぐお正月

北平小學校二年

七五三佐由利

もう、お正月が目まえにうかんでいます。私はまぢきれない。いまお正月にきる、セーラふくをおねえちゃんにぬうてもらつています。お正月がくるとさんたのおじいちゃんにまた、おくりものをもらうのです。お正月の朝には、はやく目がさめます。どうしてかといつたら、さんたのおじいちゃんがおくりものをしてくれるからです。こんどはなにをもらうでしょうか、おくりものをいいたいだいたきは心の中では、「おじいちゃんありがとう」というきもちです。しん正がつにはセーラふくをきます。そしてはねをついてあそびます。きゆう正月にはながそでをきせてもらいます。お正月をたのしくまつております。早くこいお正月。

僕の家

坂本小學校四年

片山 清

僕の家は山に囲まれた小さな部落にある古い草ぶきの家であつて猫が出入りしてはいます。雨戸はほとんど全部やぶれており風が吹くといろり火があぶないのでうつかり火もたけません。家族はお母さんと僕と妹二人です。お父さんは太平洋戦争で戦死しました。今はお母さん一人が働いているだけなので苦しい生活をしてはいます。田畑が少なく四人が食べるだけの食物が作れないので、お金をだして買わなければなりません。それでお母さんは夜もおそくまで炭俵作りやなわなをやつてわずかなお金をとつて生活をたててはいます。だから僕らはお米のごはんなどお正月とお盆お節句の他には食べることでもできないくらいです。僕が大人になつたらなにかお金のたくさんとれる仕事をたてて家もたてておし

果物

河邊小學校五年

松下 猛男

この村には、果物がすくないのです。果物があるといつてもみかんや柿がすこしあるくらいで、ほかにあつても、山なしのかたのや山びわくくらいです。秋田縣、青森縣、岡山縣などは、山のような果物がとれるそうです。一度くらいその山のようになつては、果物をたべてみたいが、なんといつてもそうゆう縣は遠いので、いくきにはならなかつた。僕の父は岡山縣のうまれなので、時々岡山縣の話をしてくれま

川中學校の部

道 路

北平中學校一年

土居 福美

日其川にまだトラツクがあがらなかつたころには材木を川すのにも竹を出すのにも用ノ山までねぐるまか、ぎゆうしやで出してはいたが、今はトラツクがあがりだしたので道路まで出したらよいようになつたので前よりは少しはらくになつた。それでも道があるの月一回ぐらいは道をなおします。水の出る所が多からず。道をもう少しちがうところへほりかえらうという話もありました。どうしてかお金がないので今までは出来ません。いつになつたら、あたらしい道が出来るとか、雨降るときはとくに、日其川道路とかみの道路と、わかれみちのところが、入れる土がとろとろにとかされてはいます。だからくつもどるもちにならず。それで日其川道路と、かみの道路のわかれ道のところからぜんまに上にして、十メートルほどではないかと思ひます。少しでもない早くはつきりしたそうでもない早くもつた道にしたいと思ひます。

木を植えよう

河邊中學校三年

藤田 貢

最近、材木の値が相当良くなつたから大きな山をもつてはいる人はたちまち何十万、何百万という大金がふところへ入つて来る。だから金がなくつた。何かないか、木があるあれを賣れといつて澤山な金をとる。あとをみたら木を植えている人などそう沢山はいない。そんな人の云いわけは「今植えてもわしの生きてはいるうちに賣れん」まあこんなもんだらう。我々が、學校で「どうしたら水害が防げるか」と云う問題が出たら必ず「常に山をみどりにしておく」こういう結論が出る。年々決つたようにおこる「水害」を少なくするにはまず、第一に山を木を立せておくことである。「どうせこんな山おくに水害なんがあるもんか、木を植えても來年や再來年の間には合わへん」ことを考へようという人の事は多くなるばかりです。みなさん。木をきつたらあとへ必ず木を植えましよう。

米や麦の共済について

共済組合 二 宮

現在日本では年々約二一〇〇萬石お金にして一五〇〇億円の食糧を外國から輸入してやつと國民の食物をまかなつてゐるおりさまです。今の日本にとつてこんなに澤山のお金を外國に拂う事は大変苦しい事であり又世界の狀勢が変れば食糧が入つて來なくなるかも知れずいつも食糧の心配をしなくてはならないのです。なんとしても食糧を澤山作つて農家の收入をふやすと共に輸入をなくして安心して生活出来る様にする事が大切であります。然し食糧を今より澤山作る事は農業が自然を相手とする仕事だけに仲々むづかしい事でありませう。又日本は島國でお天氣の工合から世界でも災害が多い國で有名です。河邊村の米や麦においても全部の作付面積の五割以上が毎年大なり小なりの災害をうけて共済金をもらつてゐるのです。昨年も九州地方を中心に西日本は台風二号によつて目も

受けて居ります。此の様な大災害を受けるに狭い土地を耕す日本の農家では大きな捕手をうけ増産どころか農家は益々困らねばならない事になります。そこで災害から農家を守り安心して食糧を作る事が出来る様に農業共済のとりきめがあり法律では農業災害補助法と云い昭和二十二年から行つて來てゐるのです。農家に一番關係の深い米や麦の共済は大きな力がかけてゐるのです。では米や麦の共済とはどんなものでしょうか。米や麦を作つてゐる農家は全部共済には入らねばならない仕組に法律で定め居りだから農家が稲を植付け麦を播くと当然共済に入つてしまふ事になります。これは米や麦が農家にとつて大そう大切なものであり若し何かの工合で取れなかつたら農家の暮しは苦しくなり痛手を受ける事があります。共済の仕組から考えると狭い地方の農家の人だけではどうにもならないの

で大切な作物だけに全部の農家の人に入つてもらつて一方で損害があつてもそれが充分救済出来る様になつて居ります。こんなわけで米や麦の共済は農家の人がたとえ入り度くなくても國として大切な事であるから入らねばならない様にしてあります。ではどんな災害を受けた時に共済金がもらえるかと云えば風水害、旱害、冷害、雪害その他氣象上の原因で起る災害や病氣や蟲の害、鳥や獸の害等であり、ただ病氣や蟲の害等うけた場合は農家の力で相当まで防ぐ事が出来るので、どうしても防ぐ事の出来なかつた損害だけについて共済金ももらえる事になつてゐる。必ず病害蟲は防いでもらわねばなりません。水稲では田植の時から取入れまで、麦は芽が出て取入れまでの間に起つた災害は共済金ももらえます。被害の程度は三割以上も取れない損害があつた時等で被害程度別の一反歩當りの共済金額は左記の通りです。

一〇円七割から九割まで
二七九〇円九割以上全減のもの三六〇〇円
裸麦及小麥
三割から五割まで四九〇円五割から七割まで一三〇〇円七割から九割まで二一七〇円九割以上全減のもの二八〇〇円でありませう。これは河辺村の場合です。共済金のきめ方は全國一律にきめられないので反當り二石以上收穫出来るものと一石以上二石未満のもの一石五分未満のもの三つに分けてきめられて居り河辺村は一石五分未満に當てはまるわけですが米や麦が災害を受けると当然共済金をもらえるのだからその爲には、共済組合へ掛金を掛けておかねばなりません。掛金の額も災害の多い所は高くなり少い所は安くなる事になります。掛金も全部農家で出す事はなく國では掛金総額の六割をもち残りの四割を農家が出す事になります。だから農家の方々も力を合せて掛金を出ししつて心がかさなない事のない様にして頂きたいと思つて居ります。もし掛金を納めない様な場合は無理にでも國の力で集める事も出来る様になつて居ります。又左記の場合には共済金ももらえませんが注意せねばなりません。普通に當然しなればならない手入とか病蟲害などを防がなかつたりした場合等です。以上が米や麦の共済のあらましであります。この仕事は本當にその目的を

十二月午前十時より、役員會議室で婦人會役員會が開かれ、出席者二十数名。本年度中に行う残りの諸行事につき、協議決定されたが、その内季節柄火の用心運動を、婦人の力で展開することとなり、左の申合せが行われた。

火の用心は

婦人の責任で

婦人會

- 一、家を出る時寝る時は必ず火の見まわりをし火の始末をよくしよう
 - 二、竈のまわりには燃え易い物を置かないようにしよう。
 - 三、コタツの火に注意しよう。
 - 四、電氣アイロンの、かけつばなしをしないよう。
 - 五、煙突掃除、すゝはきは三月に一回は必ずしよう。
 - 六、竈の上の屋根、天井煙突のまわりに氣をつけよう。
 - 七、子供の火遊びを嚴禁しよう。
 - 八、山林火入の注意事項を必ず守ろう。
 - 九、たばこのすい殻に氣をつけよう。特に主人に呼びかける。
 - 十、バケツに一杯の水を常に用意しておこう。
 - 十一、隣組同志で火の用心をし合よう。
- 以上十一項目を婦人の責任に於て実行しましょう

公民館関係者名簿

職 員	館 長	藤田勲主計
	副館長	山ノ内晋秀
	主 書	名本 勳滋
	記 事	大森 高知
	運管審議会委員	石田小太郎
	委員 長	古梅 貞道
	副委員 長	藤原 亘
		和氣 絹子
		山之内 晋秀
		谷本 清信
		長岡三代繁
		中本 光直
		二宮 勝盛
		堀内 俊也
		二宮 孝
		向井 猛
		松本 繁一
		角田 延造
		都谷 文雄
		大星 喜重
		水池 時茂
		七五三 満
		西川 益夫
		森 太六
		關井 一
顧問		石田 定市
		和氣 明
		林 直早
		佐伯 宗遠
		本龍 堪笑

青年學級開講日

◆北中青年學級
二月 十日
三月 九日
三月十三日
三月十七日
午前九時〜午後三時

◆河小青年學級
二月 六日
二月十三日
二月二十日
二月二十七日
三月 六日
三月十三日
三月二十日
午後一時〜午後四時

こわれ時計に題し
ふなだ

こわれた時計は
リズムを忘却し
時の流れを真に無視し
或る一定の時を守つて
あらゆる進歩と發展を
しばしはるか彼方に抛
擲し
静止し
つた
つた
××
季節は
それでも春夏秋冬と
くるくまいはじめ
今真赤な曼珠沙華が
だんだら咲きに咲ほこ
赤い毒を猪散する
しばしでも季節の早く
過ぎて逝くように
×× ××
静止し
こわれた柱時計
リズムの忘却
發展性のない無限の空
間よ
赤い毒花
が
見事な線
を引いて
茫々たる彼方に
むじゆんをはらみなが
流れ去る
（こんな時計があつた
ら早速ネジを掛けませ
う）

三月講座御案内

一、日時
三月廿日(土)自午後一時
至、四時

一、会場
役場会議室

一、行事
(1) 話(一〇〇—一三〇)
現代の敬語について
(2) 話(一三〇—二〇〇)
七五三 講師



短歌の用語について
七五三 講師

(3) 座談会(二〇〇—二三〇)
右の語を中心

(4) 歌会(二三〇—四〇〇)
作品の批評、鑑賞など
なごやかに意見交換を
(追記)
御出席の如何にかかわ
らず御自作の短歌があれ
ば一首でも二首でも幹事
のもとへ十七日までにお
届け下さい。謄写にして
当日くばります。御希望
により匿名にでもいたし
ます。

(幹事 二宮孝)

先ずお詫び
公民館報発行が大變お
くれたことを深くおわ
び申し上げます。せめな
いで何卒お許し下さい
さて編輯は終つたもの
淋しい感じと拙い氣
持ちで一杯です。折角
の玉稿を殺した様な氣
もする、でも情魂を傾
けつくして編輯同人は
やつたつもりです。幾

重にもお許しを……
見直し聞き直して読ん
で下さる方々に大きい
期待をかけています。

○感謝とお願い
公私御多端の折柄玉稿
を投じて下さった方々
又学校長さんのお世話
により多数生徒児童の
作品を御惠投下さった
事に対し厚くお礼申し
上げます。今後共館報の
種が切れないよう、引
續き御投稿をお願いし
ます。

○苦心と絶えぬ心配
「勞して効なし公民館
報」と嘆いた某公民館
の職員の切なる言葉を
耳にした事があります
館報発行は蓋し安易な
仕事ではない。苦勞が
あり心配も大きい、多
大の経費も当然いる。
それなのに、村内全戸
配つても読む者が三十
%余その効果は余り期
待出来なかつたと言
うのです。

館報「かわべ」はそん
な事態に陥つてはいけ
ないと実は心配し、深
く戒めています。こん
な氣持ちから記事内容

にもきびしい検討を加
えて依頼し、讀まれる
館報愛される館報をね
らいにして記事を盛つ
たつもりです。

○もう一つの心配
それは繼續発行が出来
るか否か之が問題です
編輯室同人許りの記事
であつたとしたら、
それは編輯同人の紙上
遊戯に過ぎない。廣報
を兼ねた館報の意義は
全く滅却されてしま
す。繼續発行のために
大方諸賢の盛な御投稿
を切望して止みませ

○特別熱意を注いだ方
御指導下さつた七五三
滿先生、芳我印刷所主
人に対して深甚の敬意
を表しますと共に尙変
らぬ愛顧をお願いして
止みません。

編輯室主任
(題字は行成字鏡より
集字)

館報編輯委員
七五三 滿
船田 正路
智葉 昌人
名本 勳滋